

平成 19 年 11 月 29 日

各 位

西日本シティ銀行

消費者動向調査 No.101 「冬のボーナス使いみち調査」

西日本シティ銀行（頭取 久保田 勇夫）は、消費者動向調査を定期的を実施しております。今般、「冬のボーナス使いみち調査」の結果がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。

記

調査時期：平成 19 年 10 月
調査対象：福岡県内のボーナスがある家庭の主婦 500 人
（うち回答者 490 人、回答率 98.0%）

調査結果要約

- ◆ 今年の冬のボーナス支給予想、昨年冬と比較して「多くなる」が 1.9 ポイント増加。「少なくなる」も 0.6 ポイント増加。

冬のボーナスが「昨年より多くなる」との予想はここ 2 年増加傾向である一方、「少なくなる」との予想が減少傾向から今回増加に転じている。（調査結果本文 2P）

- ◆ 冬のボーナスの使いみち予定 1 位は「貯蓄」で 5 割を超えトップ。2 位は「生活費の補てん」で 33.4%。

冬のボーナスの支出予定トップは 51.0%で「貯蓄」、続いて 33.4%で「生活費の補てん」。 「衣料品等の購入」が昨年冬の 3 位から 6 位へ後退。（調査結果本文 3P）

- ◆ 冬のボーナスの貯蓄する目的は「家計補充のため」がトップで 5 割を超えた。次いで「老後資金の供え」が 33.8%で 2 位。

景気は緩やかに拡大していると言われるものの、主婦の実感としては将来の生活に不安を抱えているようだ。（調査結果本文 4P）

- ◆ 冬のボーナスを貯蓄する場合、およそ 9 割の人が安全性を重視。

主婦が冬のボーナスを貯蓄する場合、「元本の安全性を重視したい」が 47.3%で 1 位。「収益性も考えるが、安全性をより重視したい」が 42.6%で 2 位。（調査結果本文 5P）

- ◆ 冬のボーナス、自由に使える金額は、昨年冬に比べ夫は 3 千円ダウン。妻は 1 千円アップ。

横ばい基調であるが、少しでも節約しようということか、夫にはきびしい査定となったようだ。（調査結果本文 7P）

[調査結果本文はこちら](#)

以 上

この調査に関するお問い合わせ先
広報文化部 堺 TEL 092-461-1869